

平成22年10月18日

各 位

小さな助け合いの物語賞（懸賞作文事業）の結果報告について

社団法人 全国信用組合中央協会

社団法人全国信用組合中央協会（会長：中津川 正裕）は、「誰かに助けてもらった感謝の気持ち」や「助け合うことで達成した目標」など「助け合い」をテーマに6月1日（火）から9月7日（火）まで懸賞作文事業を実施し、入選者をこのほど決定いたしました。

同協会では、毎年9月3日を「しんくみの日」、9月1日～7日を「しんくみの日週間」と設定し、「しんくみ」をもっと知っていただけるよう各信用組合で様々な奉仕活動やイベントを実施しており、今回初の試みとなる「懸賞作文の募集」は、老若男女問わず様々な世代の方からの応募があり、全国から729通の応募作品が集まりました。

選考委員の厳正なる選考の結果、「しんくみ大賞」（1編）、「本仮屋ユイカ賞」（1編）、「優秀賞」（3編）、「入選」（5編）が選ばれました。入選作品については本ホームページをご覧ください。

なお、「しんくみ大賞」、「本仮屋ユイカ賞」の受賞者は2010年10月15日（金）に東京にある経団連会館で開催された「全国信用組合大会」にて表彰式が行われました。

併せて同大会の席上、信用組合業界の社会貢献の一環として、賞金相当額50万円を信用組合業界の献血活動との連携の強化とわが国における献血活動や災害時の医療活動など広範な社会貢献活動を支援するために日本赤十字社へ、先般発生した口蹄疫による被害が家畜農家のみならず近隣の中小零細事業者など地域経済に多大な影響を及ぼしたことから、その復興に資するため100万円を宮崎県へ寄付いたしました。

【担当：広報部 二宮・堀川・高橋】

TEL：03-3567-2452